

日本テレビホールディングス



2023年度 第3四半期 決算説明資料

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします



新たな株主還元施策

株主名簿外の外国人等株式への配当支払

- 議決権のない外国人等株主（20%超の外国人株主）が配当を受け取ることができるように定款変更を定時株主総会に提案する方針
- この定款変更議案が付議、承認可決されれば2024年3月31日を基準日とする配当金より可能

自己株式取得

- 5,000,000株、70億円を上限に自己株式を取得
- 取得期間は2024年2月2日～2024年5月31日
- 市場買い付け

決算概況と業績予想

2023年第3四半期概況

増収営業減益

- スポットのシェアは圧倒的トップの3割程度を維持も、原材料高の影響等により広告市況全体が厳しく、地上波テレビ広告収入が減少
- イベントやアニメ、海外番販など、日本テレビ放送網の事業収支は好調
- グループ会社はムラヤマ、ティップネス、ACM、日本テレビ音楽などが好調で健闘。広告収入の減少分を補い、増収に

資本政策

- 政策保有株の一部を売却。資金は事業投資や株主還元を活用予定

トピックス

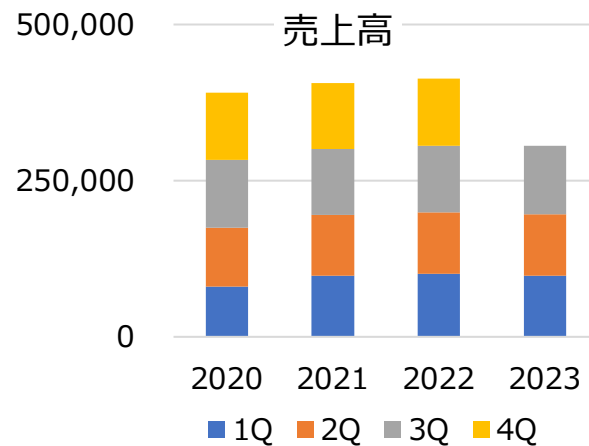
- スタジオジブリを連結子会社化。第3四半期からジブリ社のBSを取り込み

日本テレビホールディングス：連結決算概況

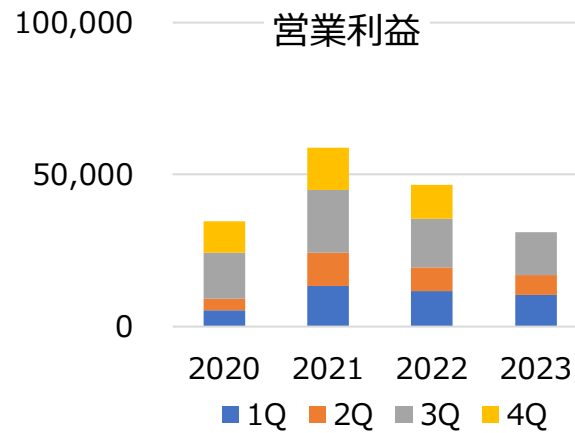
(単位：百万円)

	2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	前年差	増減率
売上高	305,633	306,219	586	0.2%
営業利益	35,383	31,062	△4,320	△12.2%
経常利益	38,985	37,060	△1,924	△4.9%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	27,089	33,174	6,084	22.5%

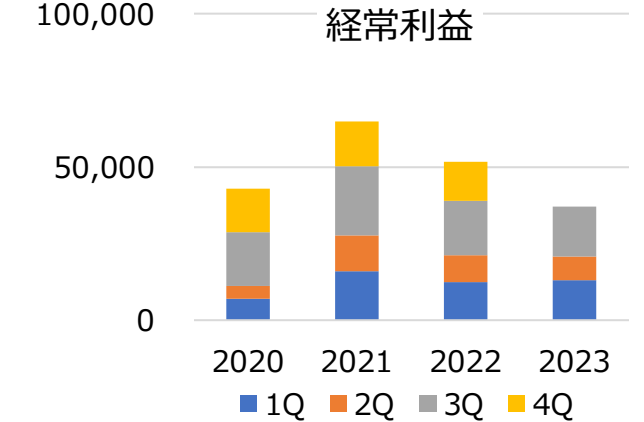
(百万円)



(百万円)



(百万円)



HD:決算概況

グループ会社

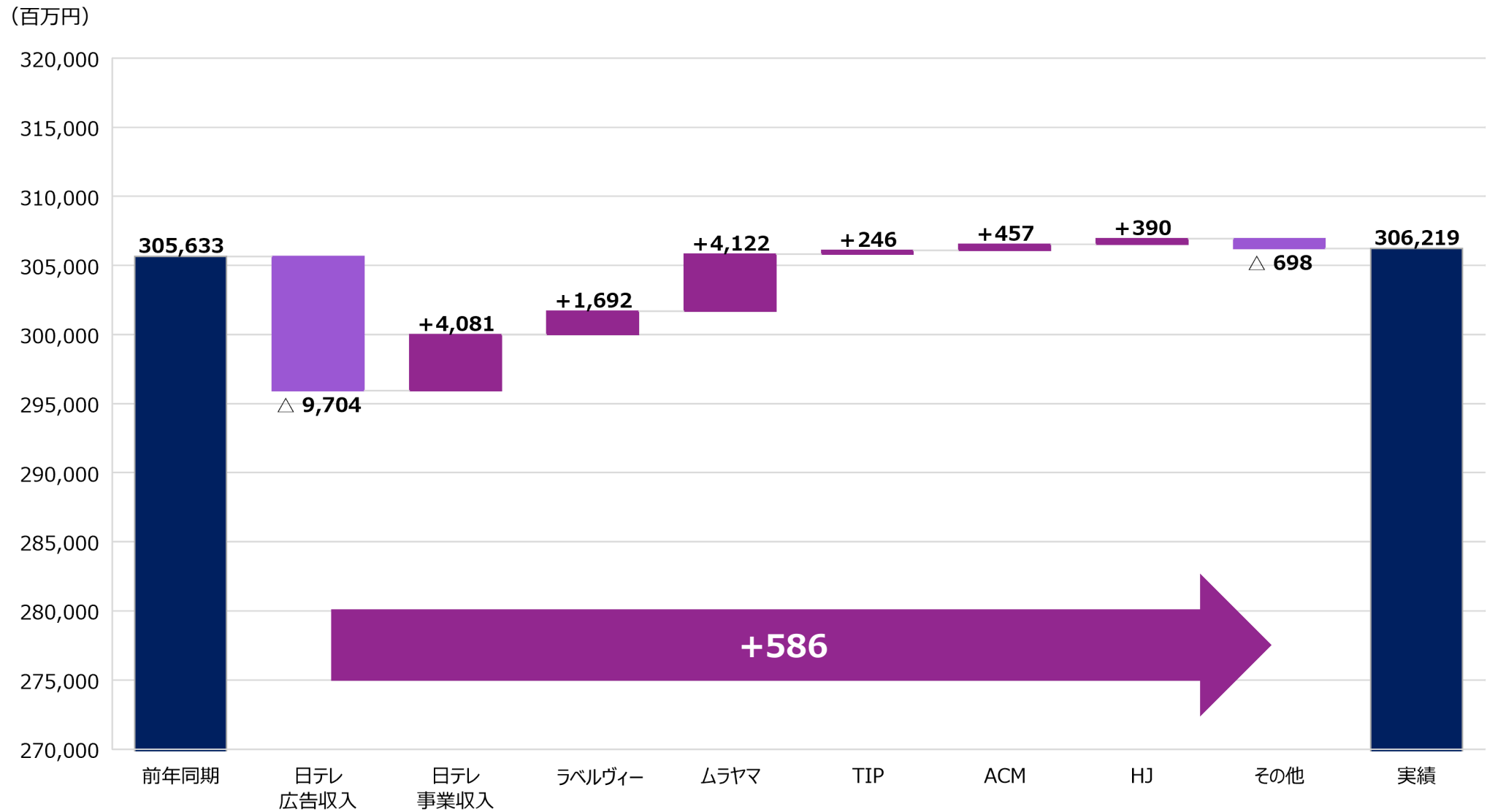
日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

売上高の前年同期増減分析



HD:決算概況

グループ会社

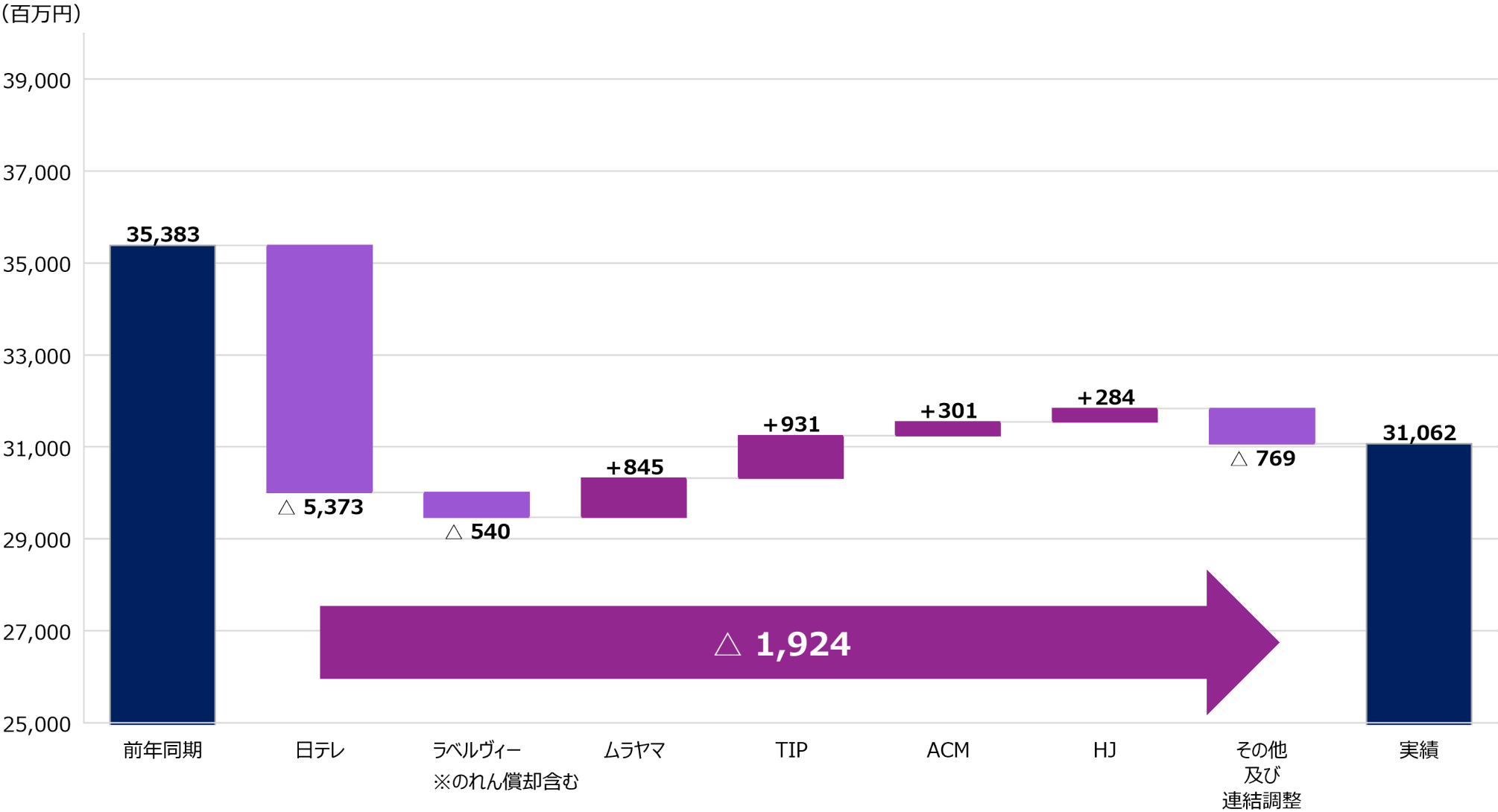
日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

営業利益の前年同期増減分析



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：決算概況

- 減収減益
- 地上波テレビ広告の減収が影響
- イベント・アニメ・海外番販などが好調で事業収支は増収増益
- 政策保有株の売却による投資有価証券売却益を計上

(単位：百万円)

	2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	前年差	増減率
売上高	215,982	210,802	△5,179	△2.4%
営業利益	26,709	21,336	△5,373	△20.1%
経常利益	31,298	25,008	△6,290	△20.1%
四半期純利益	22,539	22,048	△491	△2.2%

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：営業収支詳細

(単位：百万円)

営業収入	2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	前年差	増減率
広告収入	175,011	165,307	△9,703	△5.5%
番組販売収入	8,290	8,253	△37	△0.5%
事業収入	30,916	34,997	4,080	13.2%
不動産賃貸収入	1,763	2,244	480	27.3%
合計	215,982	210,802	△5,179	△2.4%

営業費用	2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	前年差	増減率
番組制作費	65,166	65,296	129	0.2%
人件費	17,468	16,639	△828	△4.7%
減価償却費	6,934	7,058	123	1.8%
事業費	27,754	31,356	3,601	13.0%
その他	71,951	69,117	△2,834	△3.9%
合計	189,273	189,466	193	0.1%

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：広告収入詳細

(単位：百万円)

	2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	前年差	増減率
広告収入	175,011	165,307	△9,703	△5.5%
タイム	82,682	78,269	△4,413	△5.3%
スポット	88,737	82,451	△6,285	△7.1%
デジタル広告	3,592	4,587	995	27.7%

2023年度 広告収入前年同月比

* 2022年度よりTVer等による「デジタル広告」欄を追加

タイム	増減率
4月	△4.8%
5月	△9.8%
6月	△8.5%
7月	△6.0%
8月	△8.1%
9月	2.4%
10月	△2.5%
11月	△4.7%
12月	△5.2%

スポット	増減率
4月	△3.2%
5月	△5.0%
6月	△4.8%
7月	△11.6%
8月	△10.2%
9月	△6.6%
10月	△2.6%
11月	△10.6%
12月	△9.1%

デジタル広告	増減率
4月	17.2%
5月	29.6%
6月	12.3%
7月	15.1%
8月	22.2%
9月	45.0%
10月	30.2%
11月	44.4%
12月	30.5%

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

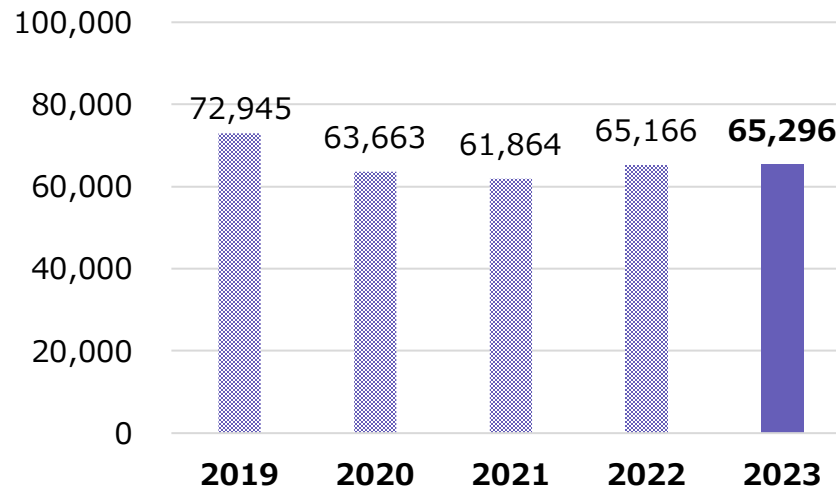
補足資料

日本テレビ放送網：番組制作費

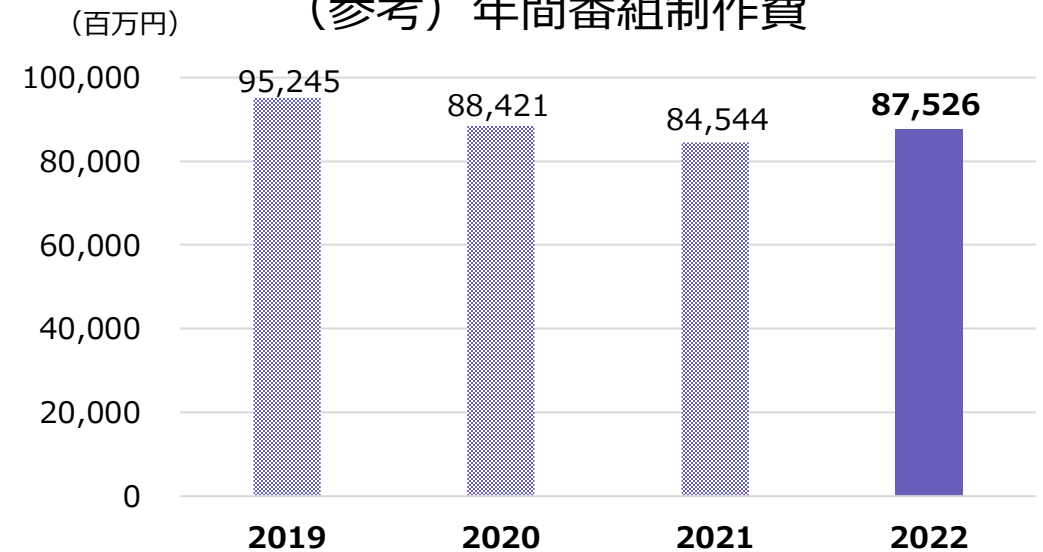
(単位：百万円)

2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	前年差	増減率
65,166	65,296	129	0.2%

4-12月 番組制作費



(参考) 年間番組制作費



日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)

	収入		収支		特筆点
	2023年度 4-12月	増減率	2023年度 4-12月	増減率	
映画	2,812	△3.4%	1,205	△18.3%	公開作品は前年を上回る好調だったが、前年は二次収入が好調だった
イベント	3,722	24.6%	431	119.9%	ルーヴル美術館展、ディズニー・イマーシブ展、金曜ロードとジブリ展など大型イベントが貢献
リテールビジネス	6,354	△4.5%	375	△2.3%	外部モールの一時閉鎖等の影響があった
アニメ	5,045	86.8%	2,189	59.4%	新作本数が増加。旧作も配信、海外セールスなど好調だった
海外番販 (除アニメ)	1,480	19.5%	1,073	107.9%	海外配信サイトへのセールスが好調。利益率も高い大型案件が多かった
IPビジネス	3,674	39.4%	942	168.4%	「D.U.N.K.2」等大型興行やヒットIPの好調で前年を大幅に上回った
コンテンツビジネス	1,062	0.4%	587	3.2%	ライセンス事業などが安定的な推移

* 2021年度より、海外へのアニメ販売分はそれまでの「海外」から「アニメ」に計上を変更
 * 旧「通販」は、社内の呼称に合わせ「リテールビジネス」に統一

主なグループ会社の状況

■ 連結決算への影響が大きい、日本テレビ放送網以外のグループ会社

※単位：百万円（%は前年同期比）

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス	
売上高	12,418	1.2%	6,779	△5.1%	6,848	7.6%	4,729	△8.2%	19,824	1.4%
営業利益	1,217	△19.9%	255	19.6%	1,880	19.2%	904	△8.6%	793	—
経常利益	1,263	△18.6%	265	20.6%	1,907	18.8%	945	△7.0%	825	—
四半期純利益	883	△16.8%	182	20.0%	1,247	18.7%	625	△48.3%	702	—

	ムラヤマ		タツノコプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	11,262	61.3%	448	△78.4%	25,280	1.6%	3,730	14.0%	6,153	0.3%
営業利益	335	—	△147	—	985	40.5%	942	47.1%	1,274	△10.0%
経常利益	386	—	△128	—	1,049	49.3%	994	47.6%	1,281	△7.7%
四半期純利益	299	—	△86	—	1,047	49.6%	982	48.9%	782	△7.5%

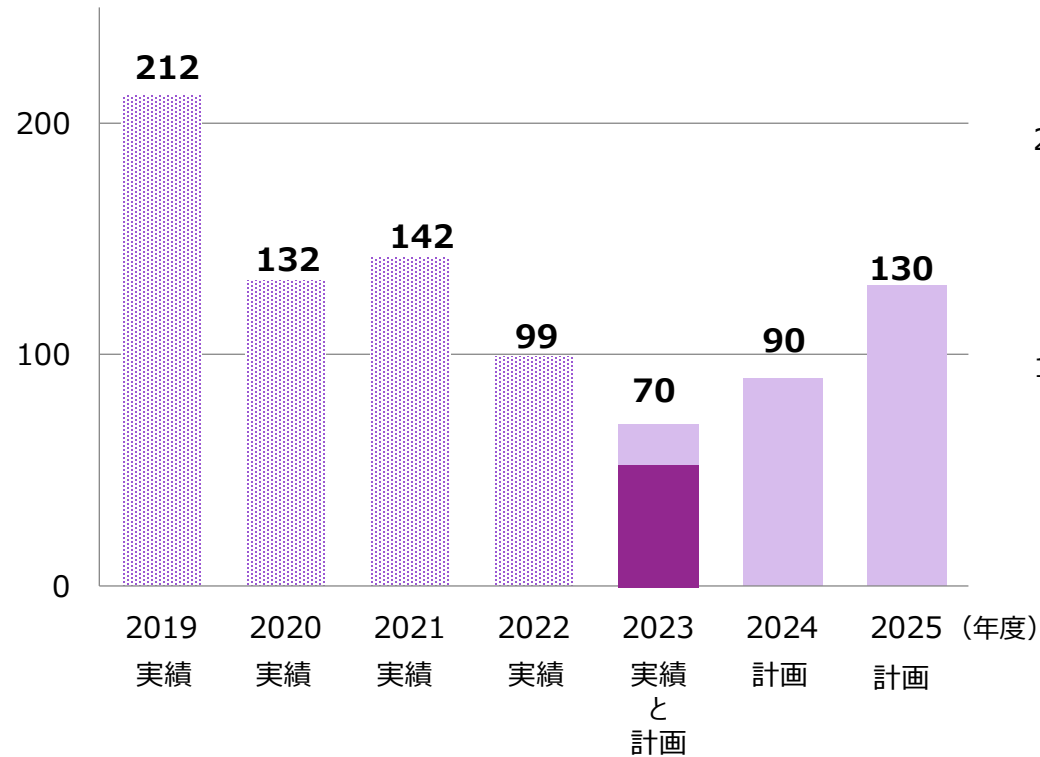
※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(－)表記

設備投資と減価償却

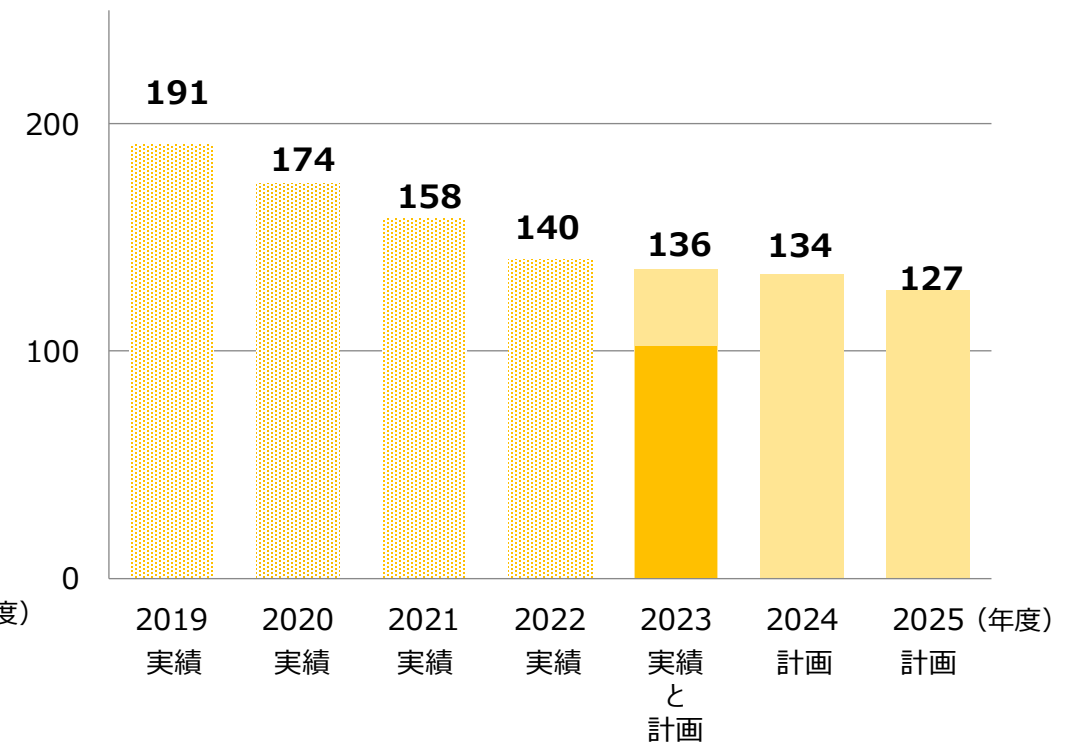
(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
2023年度 4-12月	46	101

年間設備投資額



年間減価償却費



連結業績及び配当予想

業績予想 5月時点より修正なし

(単位：百万円)	2022年度実績	2023年度予想	増減	増減率
売上高	413,979	436,000	22,021	5.3%
営業利益	46,593	48,000	1,407	3.0%
経常利益	51,775	54,000	2,225	4.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	34,081	37,000	2,919	8.6%

配当（第2四半期決算時修正）

(単位：円)	第2 四半期末	期末	合計
2022年度実績	10	27	37
2023年度予想	10	30	40

2024年度3月期（予想）の期末配当金30円00銭には
記念配当金3円00銭を含む

2023年度 日本テレビ地上波広告収入の見込み（前期比）

	5月時点	11月時点
タイム	2.2%	△ 4.7%
スポット	2.7%	△ 7.0%

第2四半期決算発表時に前提の見直しを実施済

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

コンテンツ戦略

スタジオジブリ「君たちはどう生きるか」

- 「君たちはどう生きるか」（宮崎駿監督）が**第81回ゴールデン・グローブ賞アニメーション映画賞受賞**。日本映画として初の快挙

鈴木敏夫プロデューサーのコメント

「君たちはどう生きるか」の受賞の知らせを聞いて、本当にうれしく思います。歴史あるゴールデン・グローブ賞で、ジブリ作品が賞を頂いたのは初めてのことで、格別な気持ちです。日本では年初以来、地震や事故などの痛ましいニュースが相次ぎました。被災地では未だ救助を待っている方々が数多くいらっしゃるという報道を聞くと、やり切れない思いで一杯になります。そんな中で受賞という明るいニュースは、少しでも皆さんに笑顔を届けることができるでしょうか。

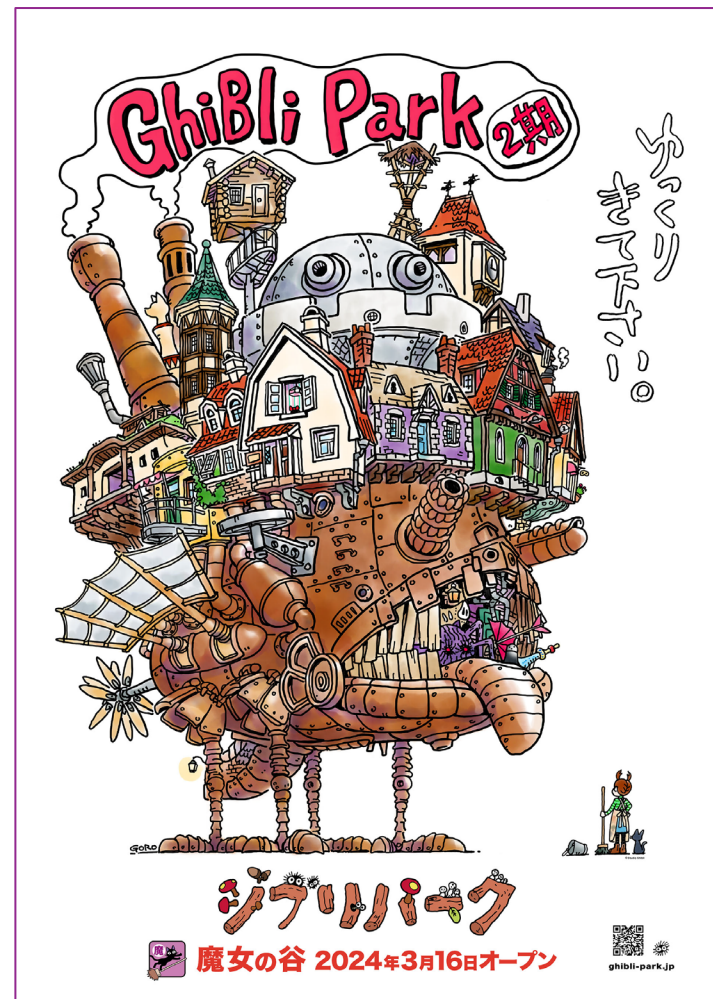
- また、**第96回米アカデミー賞長編アニメーション映画部門賞ノミネート**。「千と千尋の神隠し」に続く2度目の受賞が期待される
- アメリカ・カナダでは12月8日より公開
- 公開館数は2,205館とスタジオジブリ作品としては過去最高
- 公開から3日間の興行収入は1,297万ドルを記録し、スタジオジブリ作品として最高成績を記録
- その他、世界各国でスタジオジブリ作品として過去最高の興行成績となるなど、世界中で注目を集めている



© Studio Ghibli

スタジオジブリ「ジブリパーク」第2期エリア

- ジブリパーク第2期エリア「もののけの里」が2023年11月1日に開園、続いて2024年3月16日に「魔女の谷」が開園予定
- もののけの里は、『もののけ姫』に登場する和風の里山的風景をイメージしたエリア。
作品内の建物をモチーフにした体験学習施設「タタラ場」や、「乙事主」の滑り台、「タタリ神」のオブジェを設置
- 魔女の谷は、『魔女の宅急便』の「オキノ邸」や「グーチョキパン屋」、『ハウルの動く城』の「ハウルの城」や「ハッター帽子店」、『アーヤと魔女』の「魔女の家」といった映画の世界をモチーフにした建物があるエリア。
「メリーゴーランド」と「フライングマシン」の遊具も設置



© Studio Ghibli

スタジオジブリ「舞台となりのトトロ」再演

- 英国演劇界で最も権威のある「ローレンス・オリビエ賞」で最優秀作品賞など6冠に輝いた『My Neighbour Totoro』が、2023年11月21日から2024年3月23日まで、初演と同じロンドンのバービカン劇場で再演されている
- 本作は昨年1月の終演直後から再演を望む声が多数寄せられており、再演が決定

- 舞台「となりのトトロ」について

本作は映画で音楽を手掛けた作曲家の久石譲が舞台化を提案し、宮崎駿監督がこれを許諾したことで始まったプロジェクト。久石譲のもと、イギリスの名門演劇カンパニー、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー（RSC）と日本テレビが共同製作し、舞台化。2022年10月から2023年1月まで上演した舞台は、久石譲の音楽、原作を尊重した世界観、そしてRSCならではの作劇力で観客の心をつかみ、13万3,000枚のチケットは完売、連日万雷の拍手とスタンディングオベーションが続いた。今シーズンも16万枚のチケットが完売する勢い



© Studio Ghibli Photo by Manuel Harlan © RSC with NTV

アニメビジネス展開

2023年秋は、日本テレビで放送した
「葬送のフリーレン」「薬屋のひとりごと」が
各配信プラットフォーム、アニメサイトの人気ランキングでも上位を獲得し、
アニメ界で大注目となりました！この冬も放送中



©山田鐘人・アベツカサ／小学館／「葬送のフリーレン」製作委員会



©日向夏・イマジカインフォス／「薬屋のひとりごと」製作委員会

2024年春の注目作品がこちら！

「転生したらスライムだった件・3期」

月刊シリウスに連載中の「転生したらスライムだった件」。
サラリーマンからスライムに転生した主人公と、異世界で出会う仲間達との絆や冒険を描くファンタジー。略称は「転スラ」。
コミックスをはじめライトノベル小説、コミックス、外伝作品とマルチに展開しシリーズ累計発行部数は4,000万部を突破。



©川上泰樹・伏瀬・講談社／転スラ製作委員会

「ザ・ファブル」

累計発行部数2,400万部。
南 勝久原作、「ヤングマガジン」で連載された漫画『ザ・ファブル』。どんな敵も6秒以内に鮮やかに葬り去る、無敵の殺しの天才・通称“ファブル”。この最大にして至難のミッションを遂行することはできるのか！？無敵の殺し屋“ファブル”の、カッコよく、滑稽で、そして少し風変わりな 1 年間の殺し屋休業生活が始まる！



©南勝久・講談社／アニメ「ザ・ファブル」製作委員会

コンテンツグローバル展開

■ ドラマ『ブラッシュアップライフ』世界で受賞ラッシュ止まらず！

- ・12月からNetflixにて日本国内、続いて中国を除くアジア圏で配信開始。
日本では6週連続でトップ10入りするなど、初放送から半年以上経っても人気は衰えず
- ・10月にカンヌで開催されたContent Innovation Awards「英語以外の新作ドラマ部門」でグランプリを獲得（アジア作品唯一の受賞）、12月シンガポールで開催されたAsian Academy Creative Awardsでは「ドラマ監督賞」「PR賞」の2冠を獲得



■ アジアNo.1『Mother』リメイク版がモンゴルでも放送開始！

- ・アジア発ドラマとして世界で最もリメイクされている『Mother』は、モンゴルでも現地版の制作が決定し、24年1月からEduTVにて放送開始。海外リメイクはこれで8か国目。
24年には、さらなる現地版の制作が開始予定



■ 『はじめてのおつかい』カナダで現地版の制作が決定！

- ・Netflixでの世界配信をきっかけに注目を集めた『はじめてのおつかい』は、カナダで現地版の制作が決定。トロントのTVオンタリオで24年秋に全8話放送予定。制作は、カナダ最大手のスタジオの一つBlue Ant Studios。北米展開を機に他地域からもオファー殺到中



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

編成戰略

2024年4月期「改編」について

【編成戦略】

日本テレビは24年4月から、**コアMAX戦略**でリスタート！

広告主が求める視聴層「コアターゲット」をこれまで以上に重視。
コアターゲットの“圧倒的獲得”を狙う『コアMAX戦略』で、
地上波視聴率でも、見逃し配信再生数でも、
放送収入でも、放送外収入でも・・・
放送業界トップを目指す！

※『コアターゲット』は、**男女13-49歳の視聴者**を表す日本テレビのオリジナル指標。
若者層にどれだけ支持されているかを示すこのコア視聴率で日本テレビは**11年連続トップ**！

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2024年4月期「改編」について

コアMAX戦略 に基づき

ここ数年で最大規模の**タイムテーブル大改革**を断行！



土曜の夜 7時56分からは
「with MUSIC」がスタート。
これまでにない
新しい音楽番組が誕生！



新音楽番組＋ドラマ2段で
土曜夜がワクワクする
新しいテレビ習慣を作る！



看板ニュース番組の“顔”が変わる！
さらにパワーアップして
これからもトップを目指す

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

連続ドラマを軸にした「大型プロジェクト」始動！

【日曜ドラマ】 「ACMA:GAME アクマゲーム」 24年4月スタート！

日本から世界へー
日本テレビの大型プロジェクトが始動！
“究極のデスゲーム”を超 VFX で実写化!!!
全世界必見のサバイバル・エンターテインメント

究極の頭脳戦×極限の心理戦×白熱の能力バトル、開幕！
地位、財産、名誉、そして命・・・
相手から全てを奪うことができる悪魔のゲーム！



主演：間宮祥太朗

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年「コアターゲット」年間視聴率

2023/1/2(月)～2023/12/31(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX
全日 (6～24時)	① 2.7	④ 1.3	③ 1.6	⑤ 0.5	② 1.7
プライム (19～23時)	① 4.4	④ 2.6	② 3.1	⑤ 1.2	③ 2.8
ゴールデン (19～22時)	① 4.6	④ 2.6	② 3.1	⑤ 1.3	③ 2.9
ノンプライム (全日－プライム)	① 2.2	④ 0.9	③ 1.2	⑤ 0.3	② 1.4
プラチナ (23～25時)	① 2.3	② 1.4	④ 1.3	⑤ 0.5	② 1.4

左からデジタルチャンネル順
ビデオサーチの視聴率データを基に日本テレビで集計（関東地区、コアターゲット：男女13-49才）

日本テレビは11年連続「コア3冠」獲得中！（全日・プライム・ゴールデン）

2023年 日テレ「属性別」視聴率年間順位

2023/1/2(月)～2023/12/31(日)

	個人 全体	コア 4-49歳	C 4-12歳	T 13-19歳	M1 20-35歳	M2 36-49歳	M3 50-64歳	M3 65歳以上	F1 20-35歳	F2 36-49歳	F3 50-64歳	F3 65歳以上
全日 (6～24時)	2位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	1位	1位	1位	2位
プライム (19～23時)	2位	1位	1位	1位	1位	1位	2位	4位	1位	1位	1位	2位
ゴールデン (19～22時)	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	1位	1位	1位	2位
ノンプライム (全日-プライム)	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	1位	1位	1位	2位
プラチナ (23～25時)	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	2位	1位	1位	1位	1位

民放5局の中での順位（NTV・EX・TBS・TX・CX）／ビデオリサーチ調べ（関東地区）

日本テレビは、ほとんどの時間帯でトップ。
現役世代に最も支持されているテレビ局！

年末年始 日テレ番組「到達人数」ランキング

順位	放送日	番組	全国到達人数 1分以上の視聴人数（推計）	視聴率 関東／個人全体	分数	局数
1位	1月3日	第100回 箱根駅伝（復路）	4686.8万人	17.5%	388	30局
2位	1月2日	第100回 箱根駅伝（往路）	4475.4万人	15.7%	375	30局
3位	12月31日	笑って年越し！THE 笑晦日（2部）	3535.7万人	4.2%	345	30局
4位	12月26日	年末爆笑さんま御殿！！	2983.6万人	5.6%	234	28局
5位	1月1日	月曜から夜ふかし元旦SP	2877.9万人	8.0%	144	28局

2023年12月25日～2024年1月8日／ビデオサーチ調べ

「箱根駅伝」は往路・復路とも全国の3人に1人＝4500万人以上が視聴！
個人全体視聴率も歴代6位、ライブ配信でも往復で延べ122万UBを記録

テレビ営業・デジタル・配信

アドテクノロジーでテレビ広告を高度化

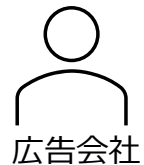
ARM（アドリーチマックス）：テクノロジーを活用して広告取引やオペレーション業務を高度化することで、スポンサーの多様なニーズにスピード感を持って対応する「アドプラットフォーム」を構築するプロジェクト

- 地上波広告でインターネット広告と同様のリアルタイムな広告取引や広告運用を実現する「ARMプラットフォーム」を開発中
- 「ARMプラットフォーム」は2024年度末のサービス開始を予定
- 地上波在庫に対するプログラマティックな取引、地上波在庫とTVer在庫の統合管理などテレビCMの効率化を支援
- 日本テレビに限定せず、テレビ広告全体の価値向上を目指して日本全国にエリア拡大を推進中

23年11月プレスリリース：<https://www.ntv.co.jp/info/pressrelease/20231127.html>



ARMプラットフォーム



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

HJホールディングス（Hulu）

（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年度3Q	25,280	985	1,049	1,047

■ 2023年度3Qは、各ジャンルの人気コンテンツが話題化に成功し、新規会員獲得を牽引！

<地上波ドラマ連動>

「セクシー田中さん」クールトップ！
「ブラッシュアップライフ」年間1位獲得！



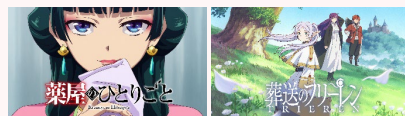
<オーディションが完結>

新ボーイズグループのデビューメンバーが決定
「Nizi Project Season2」



<話題沸騰アニメ>

「薬屋のひとりごと」「葬送のフリーレン」



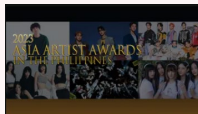
<鉄板のバラエティー番組>

過去の傑作選もHuluで配信中「世界の果てまでイッテQ!」



<韓流はじめアジアのアーティストが集合>

フィリピンでの授賞式をライブ配信
「2023 Asia Artist Awards」



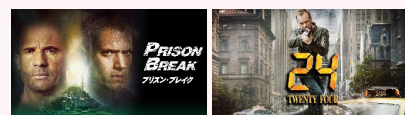
<Hulu初のオリジナル韓国ドラマも話題化>

「愛の不時着」×「梨泰院クラス」のプロデューサーが生み出した、胸キュンドラマ「プレイ・プリ」



<人気を博した海外ドラマの再配信が好調>

「プリズン・ブレイク」「24」「BONES」
など、ヒットドラマが再び脚光を浴びる！



■ Huluストア事業（都度課金）も好調！

- ・BMSG FES '23
- ・SEVENTEEN TOUR 'FOLLOW' TO JAPAN
- ・超・乃木坂スター誕生！LIVE
- ・乃木坂46／日向坂46／櫻坂46 新参者LIVE
- ・TWICE 5TH WORLD TOUR 'READY TO BE' in JAPAN
- ・THE WITCH／魔女 一増殖一

■ Huluでしか見られないドラマが今後も続々配信！

- ・Huluオリジナルドラマ「君と世界が終わる日に」がついに完結！1/26から劇場版公開、さらに、S5をHulu独占で2/9から配信開始！



- ・映像化不可能と言われた綾辻行人氏原作のミステリー「十角館の殺人」全5話を3/22からHulu独占で一挙配信予定。予告映像にミステリーファンが反応しSNSでトレンド入りするなど早くも話題に



- ・人気ドラマの続編となる1月期土曜ドラマ「新空港占拠」のスピノフストーリーをHuluオリジナルとして配信

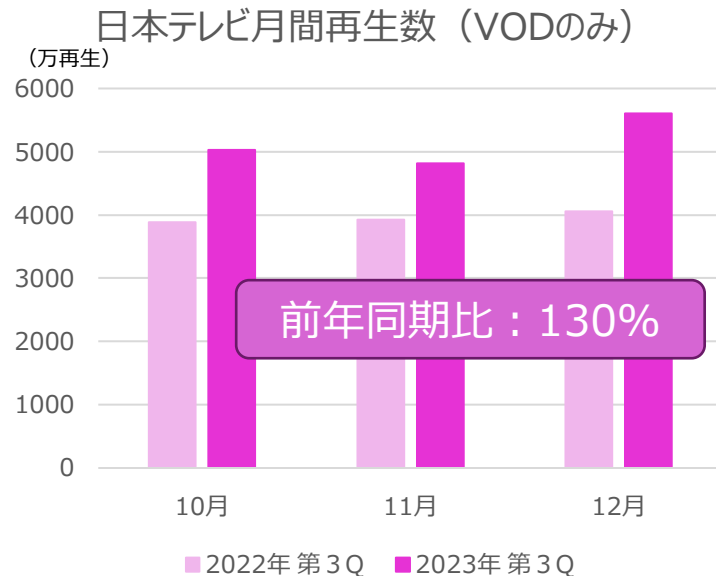


配信事業：TVer（AVOD）

TVer 状況

- 配信番組数（全局総計）：約700番組
- 3Q実績（全局総計） 再生数：11.67億（2Q比：104%） UB数：4797万（2Q比：104%）
- アプリダウンロード数累計：約6200万

日本テレビの取組



■ スポーツ配信展開の拡大

日本シリーズ、全国高校サッカー選手権、競輪日本グランプリなど幅広いジャンルのライブ＆見逃し配信を実施。TVerの男性層を中心に新たなユーザー獲得に貢献。高校サッカー決勝のライブ配信は過去最高を記録



第102回
全国高校サッカー
選手権大会

■ アニメのAVOD配信強化

「葬送のフリーレン」「薬屋のひとりごと」などの見逃し配信を実施。いずれも高い再生数を記録



薬屋のひとりごと

■ マルチユースできるコンテンツのさらなる強化

放送・配信・商品化など、トータルで価値を高めるコンテンツ制作をドラマ中心に強化

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

新規デジタルコンテンツ開発

縦型ショートドラマ「毎日はいかむ僕たちは。」

Z世代を捉えるコンテンツ開発

縦型ショートドラマという新カテゴリにおいてZ世代向けのコンテンツを開発

- 開設9ヶ月でTikTokを中心に **SNS総再生回数5億回** 突破 (※1)
- 広告を一切使わずに **平均300万回** 再生 (※2)
- Z世代の **4人に1人** が視聴しているコンテンツに成長 (※3)

新しいビジネスキャッシュポイントの創出

デジタル起点で新収益源に

- **スポンサーとのタイアップショートドラマ** を制作/配信
 - 10月セールス開始後、既に8社からのスポンサー案件受注
- 再生数に応じた **アドセンス広告収入**

(※1) 2024年1月9日時点におけるTikTok、YouTube Shorts、Instagram Reelsでの総再生回数

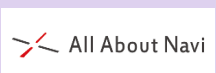
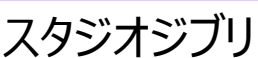
(※2) TikTokでの平均再生数をアカウントデータから算出

(※3) 全国インターネット定量調査より集計、当社調べ



**中期経営計画
新規事業・M&A**

主な戦略的投資の推移

	2012-2015 Next60	2016-2018 Change65	2019-2021 日テレeVOLUTION	2022-2024 中期経営計画
メディア・ コンテンツ事業	  	   	  	    
生活・健康 関連事業ほか	 			
その他含めた 総投資額	380億円	220億円	290億円	320億円

※第3四半期決算発表時

女性向けIP事業「君ノ隣ニ座ル星。」

【中計目標】**新規ビジネス**創出の加速

・市場規模1兆8000億といわれる
漫画やアニメが好きな女性層に向けた事業第一弾として、
男性声優×星占いがテーマの自社IP「君ノ隣ニ座ル星。」
を開発

・総フォロワー数800万人の大人気声優陣が
星占いを毎週届けるサブスクリプションサービスをスタート

出演声優：

浪川大輔、斉藤壮馬、江口拓也、汐谷文康、畠中祐、榊原優希、
西山宏太郎、岡本信彦、島崎信長、神尾晋一郎、坂田将吾、
増田俊樹（担当12星座順） 諏訪部順一

・将来的にはキャラクターIPとしてアニメ・商品化・イベント等の
多角的なメディアミックスを企画・実施し、
グローバル展開を含めたIPの最大化を目指す

公式サイト <https://suwaruhoshi.com/>

公式SNS https://twitter.com/ki_mi_no_su_00



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

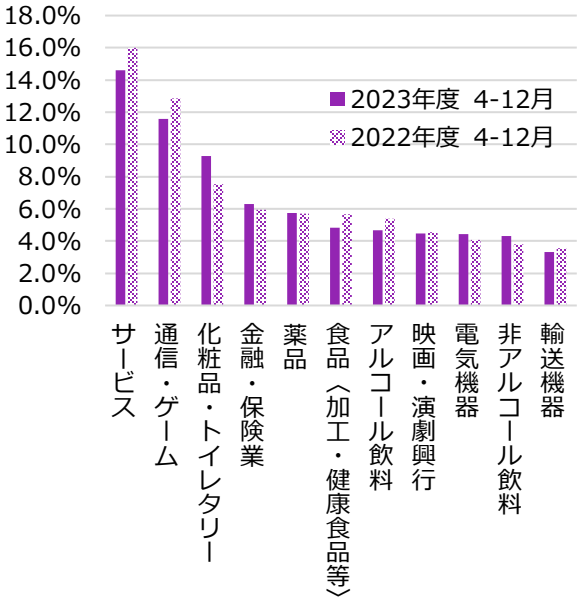
補足資料

セグメント別 実績

(単位：百万円)

	売上			営業利益		
	2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	増減	2022年度 4-12月	2023年度 4-12月	増減
メディア・コンテンツ事業	283,497	283,207	△289	33,334	28,121	△5,212
生活・健康関連事業	19,559	19,824	265	△32	879	911
不動産関連事業	7,868	8,381	513	2,805	3,231	425

4-12月 スポット業種別売上シェア
-地上波（日本テレビ放送網）-



	2022年度 4-12月	シェア (%)	増減率 (%)	2023年度 4-12月	シェア (%)	増減率 (%)
1	サービス	16.0%	39.0%	サービス	14.6%	△ 15.2%
2	通信・ゲーム	12.9%	△ 32.8%	通信・ゲーム	11.6%	△ 16.5%
3	化粧品・トイレタリー	7.5%	△ 24.4%	化粧品・トイレタリー	9.3%	14.2%
4	金融・保険業	5.9%	△ 1.6%	金融・保険業	6.3%	△ 1.2%
5	薬品	5.7%	△ 5.8%	薬品	5.7%	△ 6.4%
6	電気機器	5.7%	2.2%	食品＜加工・健康食品等＞	4.8%	△ 16.3%
7	食品 （加工・健康食品等）	5.4%	2.7%	アルコール飲料	4.7%	22.5%
8	映画・演劇興行	4.6%	7.1%	映画・演劇興行	4.5%	△ 9.2%
9	非アルコール飲料	4.1%	△ 22.9%	電気機器	4.4%	△ 27.6%
10	輸送機器	3.8%	4.3%	非アルコール飲料	4.3%	△ 1.0%

注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

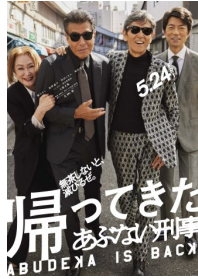
コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年度・2024年度 映画事業の主なラインナップ①

★ = 日テレ共同幹事作品 ○ = 日テレ出資作品 ■ = 日テレ幹事作品

公開	作品名	配給	備考	
3/15 (金)	★恋わずらいのエリー	松竹	累計発行部数210万部突破の傑作少女コミックが、実写映画化！ ウラオモテ王子×妄想大好き女子の ドキドキレベル最大級！ノンストップ♡ミラクルラブストーリー。 ティーンターゲットで春休みの大ヒットを目指す！ 監督：三木康一郎 脚本：おかざきさとこ 出演：宮世琉弥、原菜乃華、西村拓哉、綱啓永、小関裕太 他 ©2024「恋わずらいのエリー」製作委員会 ©藤もも／講談社	
4/12 (金)	○名探偵コナン 100万ドルの五稜星 (みちしるべ)	東宝	昨年、興収138.3億円を突破した勢いをそのままに、今年も第27作 目が公開。 刀に秘した“真実”が、闇夜を切り裂き、いま月下へと導かれる一 天下分け目のお宝争奪バトルミステリー 原作：青山剛昌 監督：永岡智佳（「紺青の拳」「緋色の弾丸」） 脚本：大倉崇裕（「ハロウインの花嫁」「から紅の恋歌」） 音楽：菅野祐悟 ゲスト声優：大泉 洋 ©2024 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会	
5/24 (金)	★帰ってきた あぶない刑事	東映	映画『さらば、あぶない刑事』から8年。あの伝説のコンビが、今度は“探 偵”として横浜の街に帰ってきた。シリーズ累計興収98億円を超える超 人気シリーズの最新作 監督：原廣利 出演：舘ひろし、柴田恭兵、浅野温子、仲村トオル、土屋太鳳 他 ©2024「帰ってきた あぶない刑事」製作委員会	

2024年度 映画事業の主なラインナップ②

★ = 日テレ共同幹事作品 ○ = 日テレ出資作品 ■ = 日テレ幹事作品

公開	作品名	配給	備考	
6/28 (金)	○それいけ！アンパンマン ばいきんまんとかぼんのルルン	東京テアトル	シリーズ35作目となる映画最新作の公開が決定！！なんと今年は、 “ばいきんまん”が主役！？ 監督：川越 淳 脚本：米村正二 声の出演：戸田恵子、中尾隆聖 他 ©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV ©やなせたかし／アンパンマン製作委員会2024	
7/12 (金)	★キングダム 大將軍の帰還	東宝	『キングダム』（57.3億円）『キングダム2』（51.6億円） 『キングダム3』（55.5億円）3作品連続で興収50億円を突破した超 人気シリーズ映画の第4弾！シリーズ最高規模のアクションを実現した 本作 監督：佐藤信介 出演：山崎賢人 大沢たかお 他順次発表予定 ©原泰久／集英社 ©2024映画「キングダム」製作委員会	

HD:決算概況

グループ会社

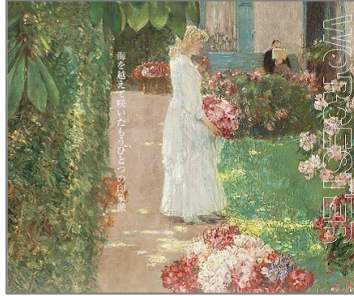
日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年度 イベント事業の主なラインナップ

期間	イベント名	内容
2024年1月27日(土)～ 4月7日(日) 東京都美術館 (東京・上野公園)	印象派 モネからアメリカへ ー ウスター美術館所蔵 ー 	日本初公開多数。 アメリカ・ウスター美術館のコレクションを中心に、 印象派の国際的な広がりを紹介する展覧会。 バルビゾン派など印象派誕生前夜から、モネやルノワールなどのフランス印象派、さらにアメリカをはじめとするフランス国外の状況まで、印象派の受容と展開をたどる。ほとんどが日本初公開で、アメリカ印象派の知られざる魅力を伝える内容
《東京展》 2024年1月12日(金)～ 2月25日(日) サンシャインシティ (東京・池袋)	名探偵 連載30周年記念 コナン展  連載30周年記念 名探偵コナン展	全国11会場で開催予定。 連載30周年を記念しての「名探偵コナン展」！ 2024年1月に連載30周年を迎える「名探偵コナン」を記念して『連載30周年記念 名探偵コナン展』を池袋・サンシャインシティにて開催。 青山剛昌先生描き下ろしイラストを使用したオリジナルフォトスポットやスペシャルムービーは必見。さらにイベントオリジナルグッズも！
2024年3月8日(金)～ 3月10日(日) ※計3公演 セキスイハイムスーパーアリーナ (グランディ21/宮城・利府)	羽生結弦 notte stellata 2024 	東日本大震災から13年目となる故郷・宮城で、 再び羽生結弦が希望への思いを込めて滑る。 2023年3月に初開催となったアイスショー「羽生結弦 notte stellata」を、2024年3月、再び宮城で開催。イタリア語で「満天の星」を意味する「notte stellata」。 今回も“希望”をテーマに、観客に笑顔をもたらすものを目指す

ほかにも沢山の音楽ライブ、舞台、展覧会を準備。詳しくは《日テレEVENT NEWS》まで
<https://www.ntv.co.jp/event/>

IPビジネスの状況①

新しいIPの創出。そして音楽シーンに新たなムーブメントを沸き立たせる

◆SKY-HIとの共同企画「D.U.N.K. Showcase」第2弾は、京セラドーム大阪で開催！今回は日本のみならずK-POPアーティストも参加、さらに音楽特番「ベストアーティスト」と中継を繋ぐなど、日本テレビならではの大型音楽イベントに。

BMSGとLDHでのダンスバトルなどサプライズ企画もあり、SNSでも大きな盛り上がり。

1月3日からはHulu独占で期間限定の完全配信がスタート



◆音楽番組「バズリズム02」と連動した「BUZZ RHYTHM LIVE」も9回目。これまでも、あいみょんやマカロニえんぴつ、King GnuやVaundyなど、後に音楽シーンを牽引していくアーティストをブレイク前に取り上げてきたが、今回も横浜アリーナにはSUPER BEAVERやBE:FIRST、NiziU他、連日多彩なアーティストが登場

BUZZ RHYTHM LIVE '23

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

IPビジネスの状況②

◆10月期放送のTHE RAMPAGEの冠バラエティー番組「RUN! RUN! RAMPAGE X」。メンバー同士の真剣勝負の決着をファンの目の前でつけようという、連動イベント「RUN! RUN! RAMPAGE X FIGHT & LIVE SHOW」が1月、横浜アリーナにて開催



◆グローバルアーティストによる音楽の祭典「BEAT AX」。12月に有明アリーナで行われた第1弾公演では、韓国発の人気ガールズグループLE SSERAFIM、人気ボーイズグループBE:FIRST、&TEAM、人気アイドルグループ=LOVEなど多くのアーティストが出演。1月にはENHYPENも参加して横浜アリーナで第2弾が早くも開催。また、イベントと連動する番組『&TEAM学園2学期』が1月より放送スタート



◆NiziUを生んだ日韓合同オーディション・プロジェクト“Nizi Project”の第2弾となるボーイズグループ・オーディションには、1万人を超える応募者が参加。その最終ラウンドとなる韓国合宿の様子が、地上波では『実況！ニジプロ2』や『DayDay.』で放送、Hulu・YouTubeにおいては『Nizi Project Season 2／Part 2』として配信。2023年12月ついにデビューメンバー7人が決定。総合プロデューサーのJ.Y. Parkより、「NEXZ」（読み：ネクスジ）と名付けられた。2024年、NEXZ初の冠コンテンツ『MiracleZ』が1月よりHuluにて独占配信スタート



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

資本効率等に関する計画

2023年5月11日開示

中期経営計画に沿った成長戦略の推進

- 「コンテンツの価値最大化」「新規ビジネス創出の加速」「ウェルネス経済圏の構築」を推し進め、売上・利益の拡大を目指す

政策保有株の削減に向けた対応

- 政策保有株については、保有の合理性について随時見直している。
2022年度は、純資産に対する比率が20%未満となった

株主還元に対する考え方

- 継続的で安定的な株主還元を基本方針としつつ、総還元性向30%を目指していく

中期経営計画を達成し、業績を上げることでROE向上を目指していく

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料